

## 公益社団法人 日本騒音制御工学会平成 24 (2012) 年春季研究発表会プログラム

開催期日： 平成 24 年 4 月 24 日(火)

会 場： 独立行政法人 産業技術総合研究所臨海副都心センター  
バイオ・IT 融合研究棟 11F (東京都江東区青海 2-42)

参加費： 参加費，論文集の頒布価格は次の通りです。

区分	参加費	論文集頒布価格
正会員 学生会員 団体会員 賛助会員	1,500 円	2,500 円
会員外	2,500 円	3,500 円

懇親会： 平成 24 年 4 月 24 日(火) 18:30~20:30

会場：日本科学未来館 7 階展望レストラン「ラ・テール」

会費：6,000 円 (懇親会当日は満席になる可能性があります。ご出席ご希望の方はお早めに事務局までご予約下さい。会費は当日正午までに総合受付に納入下さい。)

実行委員会：

(委員長)	渡辺 充敏	(株)大林組
(委員)	今泉 博之	(独)産業技術総合研究所
	梶川 嘉延	関西大学
	土田 義郎	金沢工業大学
	濱田 幸雄	日本大学
	廣江 正明	(財)小林理学研究所
	町田 信夫	日本大学
	松本 泰尚	埼玉大学大学院

発表時間など：

- 1.発表時間は，質問 討論を含めて 1 件 18 分以内とします。講演時間は 15 分，時間厳守願います。
- 2.発表者氏名のうち○印は講演者，◎印は研究奨励賞受賞対象者，☆印は認定技士，△印は会員外です。
- 3.座長は都合によって変更されることがあります。

	9:30~10:50	11:00~12:00	13:00~14:20	14:30~15:50	16:00~17:00	17:10~18:10
<b>第 1 会場</b> 会議室 1	低周波音の計測・影響・評価(1)	低周波音の計測・影響・評価(2)	低周波音の計測・影響・評価(3)	低周波音の計測・影響・評価(4)	非常に高い周波数成分を含む騒音の実態とその影響(1)	非常に高い周波数成分を含む騒音の実態とその影響(2)
<b>第 2 会場</b> 多目的室	9:50~10:50 環境振動に係る諸問題と今後の展開 (1)	11:00~12:00 環境振動に係る諸問題と今後の展開 (2)	13:00~14:20 環境振動に係る諸問題と今後の展開 (3)	14:30~15:50 外周壁の遮音設計のための騒音の測定・評価 (1)	16:00~17:40 外周壁の遮音設計のための騒音の測定・評価 (2)	

第1会場	会議室1
------	------

**低周波音の計測・影響・評価 (1)**

9:30～10:50

座長：高橋幸雄（安衛研），町田信夫（日本大学）

1-1-1（基調講演，40分）低周波音問題について ー経過と課題についての所見ー

○☆時田保夫（小林理研）

1-1-2 低周波性騒音に関する聴感実験 ーその1. 純音閾値

○坂本慎一，横山 栄（東大生研）矢野博夫，☆橘 秀樹（千葉工大）

1-1-3 低周波性騒音に関する聴感実験 ーその2. 風車音の可聴性

○横山 栄，坂本慎一（東大生研），矢野博夫，☆橘 秀樹（千葉工大）

<10分休憩>

**低周波音の計測・影響・評価 (2)**

11:00～12:00

座長：石橋雅之（千葉県環境研究センター），山田伸志（放送大学山梨学習センター）

1-1-4 超低周波音が脳波に及ぼす影響ー若年層被験者を対象とした予備検討ー

○田原靖彦，角田雅樹（東北文化学園大）

1-1-5 低周波音のマスクング特性について

○渡辺敏夫（福島高専）

1-1-6 作業時における低周波音の影響

○松田 礼（産技高専），町田信夫（日本大学）

**低周波音の計測・影響・評価 (3)**

13:00～14:20

座長：沖山文敏（オオバ），落合博明（小林理研）

1-1-7 低周波音問題対応の手引書における参照値の一考察

○鶴田幸雄（NPO 住環境の騒音・振動・低周波音を考える会）

1-1-8 最近の「音」問題に関する誤解

○☆中野有朋（中野環境クリニック）

1-1-9 風車音の家屋内外音圧レベル差の測定事例

○落合博明（小林理研），井上保雄（アイ・エヌ・シー・エンジニアリング），  
今泉博之（産総研），塩田正純（芝浦工大），山田伸志（放送大山梨学習センター）

1-1-10 風力発電設備の騒音・低周波音計測の一手法とその測定事例

○久保田富夫，福田敦史，福原安里（エーアール），野呂啓史（東海テクノ），  
福原博篤（瀋陽薬科大／エーアール）

<10分休憩>

## 低周波音の計測・影響・評価 (4)

14:30～15:50

座長：井上保雄（アイ・エヌ・シー・エンジニアリング），菊地勝浩（鉄道総研）

1-1-11 フィールドデータ蓄積による低周波音測定における風ノイズ影響の推定

○上明戸 昇，志村正幸，青木 淳，立石賢吾，丹羽尚史（建設環境研究所），  
野村卓史，長谷部 寛（日本大学），長船寿一（NEXCO 総研），  
寺菌信一，川崎康彦（アコー），伊藤芳樹，林 孝明，岩井恒敬（ソニック）

1-1-12（招待講演）トンネル発破低周波音の対策に防音扉を複数用いた場合の減音量実測値

○☆高田重隆，△森本英盟（弘進商事）

1-1-13（招待講演）越流水膜から発生する低周波音対策について

○辰橋浩二，△澤 康雄（株式会社国土開発センター），△坂下明俊（福井県）

1-1-14 開放型小水力発電施設から発生する騒音の測定

◎幡手翔太朗，△小原一慶，北村敏也（山梨大学工学部），△藤原俊男（nus）

<10分休憩>

## 非常に高い周波数成分を含む騒音の実態とその影響 (1)

16:00～17:00

座長：佐藤利和（BKJ），廣江正明（小林理研）

1-2-1（招待講演）高周波音暴露の実態調査にかかわる諸問題

○△ 蘆原 郁（産総研）

1-2-2（招待講演）歯科診療室における高周波音—不快感軽減をめざして—

○山田朋美，桑野園子，△恵比須 繁之（大阪大学）

1-2-3 高周波音が鉄道騒音の印象に与える影響

○ 廣江正明（小林理研）

<10分休憩>

## 非常に高い周波数成分を含む騒音の実態とその影響 (2)

17:10～18:10

座長：佐藤利和（BKJ），廣江正明（小林理研）

1-2-4 鉄道沿線での高周波音の発生状況に関する実態調査—過年度調査事例—

○廣江正明（小林理研），鴨志田 均（川崎市公害研），樋田昌良（名古屋市環境科学研），  
緒方正剛（(独)交通安全環境研）

1-2-5 鉄道の曲線軌道で発生する高周波音に対するレール・車輪振動の寄与度評価

川口二俊，上妻雄一，○北川敏樹，長倉 清（鉄道総研）

1-2-6 鉄道の曲線軌道における高周波数域のレール振動特性

◎川口二俊，上妻雄一，北川敏樹，長倉 清（鉄道総研）

第2会場	多目的室
------	------

**環境振動に係る諸問題と今後の展開 (1)**

9:50~10:50 座長：林 健太郎 (ベネック), 松本泰尚 (埼玉大学)

2-1-1 (招待講演) 振動防止行政の現状と課題

○△ 中西正光 (環境省)

2-1-2 公害振動評価に関わる諸問題と振動予測手法

○国松 直 (産総研), 平尾善裕 (小林理研), 松本泰尚 (埼玉大学), 北村泰寿 (建設工学研)

2-1-3 振動測定マニュアル(案)の概要

○横島潤紀 (神奈川県), 平尾善裕 (小林理研), 国松 直 (産総研)

<10分休憩>

**環境振動に係る諸問題と今後の展開 (2)**

11:00~12:00 座長：国松 直 (産総研), 横島潤紀 (神奈川県)

2-1-4 振動測定マニュアル(案)に基づいた測定・分析事例

○平尾善裕 (小林理研), 横島潤紀 (神奈川県), 国松 直 (産総研)

2-1-5 切土, 盛土道路からの3成分地盤振動伝搬の実測事例

○佐野泰之 (愛知工大), 志村正幸 (建設環境研究所), 国松 直 (産総研),  
内田季延 (飛鳥建設), 深田宰史 (金沢大学)

2-1-6 家屋内や道路沿線での測定事例

○林健太郎 (ベネック), 佐野泰之 (愛知工大)

**環境振動に係る諸問題と今後の展開 (3)**

13:00~14:20 座長：佐野泰之 (愛知工大), 平尾善裕 (小林理研)

2-1-7 環境振動調査用加振装置による地盤から建物への振動伝達特性の把握

○国松 直 (産総研), 北村泰寿 (建設工学研), 平尾善裕 (小林理研),  
太田賢治 (応用地震計測)

2-1-8 人の振動知覚閾に基づく環境振動評価量の検討

○松本泰尚 (埼玉大学), 国松 直 (産総研)

2-1-9 環境振動政策に対する諸外国へのアンケート調査—列車振動評価手法の違いに関する検討—

○横田明則, 馬屋原博光 (リオン), 国松直 (産総研), 松本泰尚 (埼玉大学)

2-1-10 1/3 オクターブバンド分析による建物床応答加速度の最大値に関する解析的考察

○平松和嗣 (建築学会環境振動測定分析小委員会委員)

<10分休憩>

## 外周壁の遮音設計のための騒音の測定・評価（1）

14：30～15:50

座長：太田篤史（横浜国大），宮島 徹（清水建設）

2-2-1 （基調講演） 外周壁の遮音設計における現状と課題

○渡辺充敏（大林組）

2-2-2 外周壁の遮音設計のための鉄道騒音のラウドネス評価に関する検討

○杉江 聡（小林理研），渡辺充敏（大林組），山内 崇（戸田建設），  
太田篤史（横浜国大）

2-2-3 建設現場におけるサッシの変形量と遮音性能に関する実験的検討

○河原塚透（大成建設），綿谷重規（音響計画），杉江 聡（小林理研）

2-2-4 サッシ隙間からの透過音の波動数値解析

○朝倉 巧，宮島 徹（清水建設），坂本慎一（東大生研）

<10分休憩>

## 外周壁の遮音設計のための騒音の測定・評価（2）

16：00～17:40

座長：杉江 聡（小林理研），渡辺充敏（大林組）

2-2-5 （招待講演） 建物外壁の庇による入射音低減効果に関する検討

○坂本慎一（東大生研）

2-2-6 鉄道騒音の外周壁への入射特性の把握方法

○買手正浩（大成建設）

2-2-7 板ガラスの斜め入射音響透過損失に関する実験的検討

○松岡明彦，山内 崇，小林正明（戸田建設）

2-2-8 風荷重低減型防音板の開発

○半坂征則，佐藤大悟，△間々田 祥悟，△小笹武史（鉄道総研）

2-2-9 高性能乾式遮音二重床の開発 —実大実験棟における測定結果—

○堀内秀樹（元日本カイザー），△雨海 清一郎（UR 都市機構），△中島一洋（UR リンケージ），  
藪下 満（YAB 建築・音響設計），小山正豪（元積水化成品工業）

# 会場案内

公益社団法人 日本騒音制御工学会 平成 24 (2012) 年春季研究発表会

開催日時：平成 24 (2012) 年 4 月 24 日 (火) 9 時 30 分～18 時 10 分

発表会場：独立行政法人 産業技術総合研究所 臨海副都心センター バイオ・IT 融合研究棟 11 階

懇親会場：日本科学未来館 7 階展望レストラン LA TERRE (ラ・テール) 18 時 30 分～20 時 30 分

## 発表会場への行き方

### 1. JR 新橋駅より

新交通ゆりかもめ乗車 テレコムセンター駅下車 (18 分) 徒歩約 4 分

### 2. 東京モノレール天王洲アイランド駅または JR 京葉線新木場駅より

東京臨海高速鉄道りんかい線乗車 東京テレポート駅下車 徒歩約 15 分

### 3. 東京テレポート駅より

都バス 海 01 門前仲町行き乗車———テレコムセンター駅前下車 徒歩約 5 分

波 01 中央防波堤行乗車———シンボルプロムナード公園前下車 徒歩約 4 分



## 会場配置図

(バイオ・IT 融合研究棟 11 階)

